

都賀地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年7月16日（火）午後2時05分～2時20分

会 場： 栃木市役所401会議室

事例数： 1ケース（R6年1月16日検討した事例の振り返り）

参加者数： 13名

〔事例提供者1名、助言者7名、包括職員2名、傍聴者3名〕

脊柱管狭窄症と手根管症候群を伴う、夜間頻尿のある 78 歳男性
<目標>1日:転ばないように注意して家事(洗濯や掃除)は自分でしていきたい。
1年:車に乗れるうちはできるだけ自由に自分の家で生活していきたい。
利用サービス：通所型サービス、介護予防福祉用具

《前回会議での支援策》

支援方針：デイサービスや日中の活動量を増やすことで睡眠の質を上げ生活の意欲を維持し、助言を参考に食生活を支援していく。

助言内容

- ①健口体操や口腔周囲の筋肉体操を行う。
- ②薬はシートに服薬日を記入するよう提案してみる。
- ③カフェインや香辛料を控え、パンを米飯に変えるよう勧めてみる。
- ④お手玉やボールを握る動作を行う。
- ⑤身体障がい者福祉会連合会都賀支部や合戦場自治会のサロンに参加を促す。

《支援結果・状況》

- ①達成：口腔体操を時々行うようになった。
- ②未達成：服薬日記入を提案し、昼間テーブルに薬を並べて置くようになったが記入には至っていない。
- ③未達成：食にこだわりがあり食生活は変わらない。
- ④達成：手の機能訓練の資料を本人と事業所に配付。本人が自宅で行ったりデイサービスで取り入れてもらうなどし、指を曲げる運動が増え、以前より硬貨がつかみやすくなった。
- ⑤未達成：自治会内や地域との交流を勧めたが、本人は今以上の他者との関わりを望んでおらず参加は出来ない。